

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100

愛称：Qレバナス

追加型投信／海外／株式／
特殊型（その他）

NASDAQ
100
CONTROL
BULL
×1-3

※ファンド名称のauAMはauアセットマネジメントの略称です。

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100
(愛称：Qレバナス)

第3期(決算日 2024年11月22日)

第4期(決算日 2025年2月25日)

(作成対象期間 2024年8月23日～2025年2月25日)

受益者の皆様へ

平素より格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
当ファンドは、auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数(円ヘッジベース)の値動きの2倍を上回ることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100(愛称：Qレバナス)

第4期末(2025年2月25日)		第3期～第4期	
基準価額	11,793円	騰落率	13.9%
純資産総額	2,753百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

右記のURLにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「商品名」から当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

auアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区西神田三丁目2番1号



ホームページ

<https://www.kddi-am.com/>

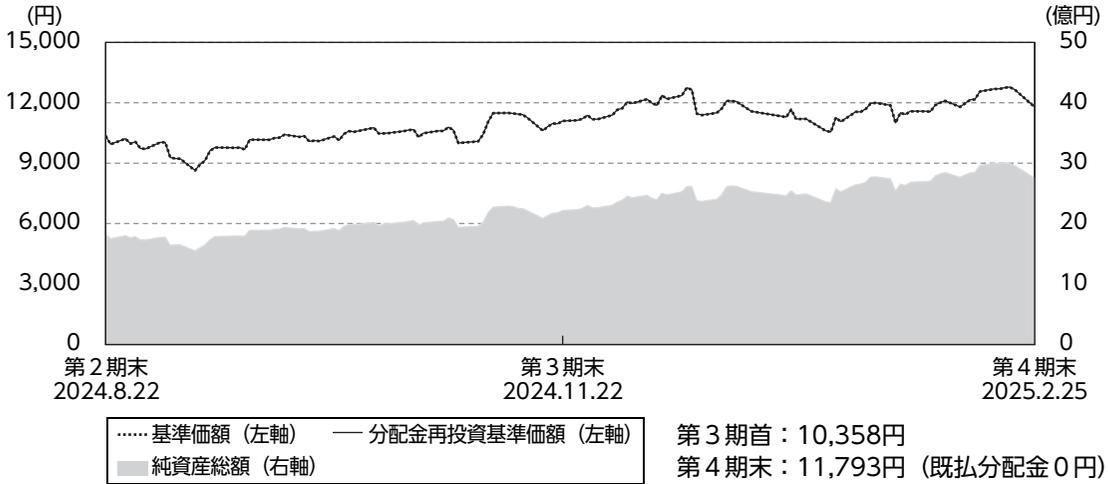


お問い合わせ先 03-5657-7185

(受付時間 営業日の午前9時～午後5時)

■運用経過

□基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

□基準価額の主な変動要因

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)の受益証券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数(円ヘッジベース)の値動きの2倍を上回ることをめざした運用を行った結果、基準価額・分配金再投資基準価額は第3期が7.1%上昇、第4期が6.3%の上昇となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

□ 1万口当りの費用の明細

項目	第3期～第4期 (2024.8.23～2025.2.25)		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
運用管理費用 (信託報酬)	20円	0.183%	運用管理費用(信託報酬)＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,042円です。
(投信会社)	(9)	(0.084)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(9)	(0.084)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	5	0.043	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数
(先物・オプション)	(5)	(0.043)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数
			有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (監査費用)	1	0.005	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	25	0.231	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

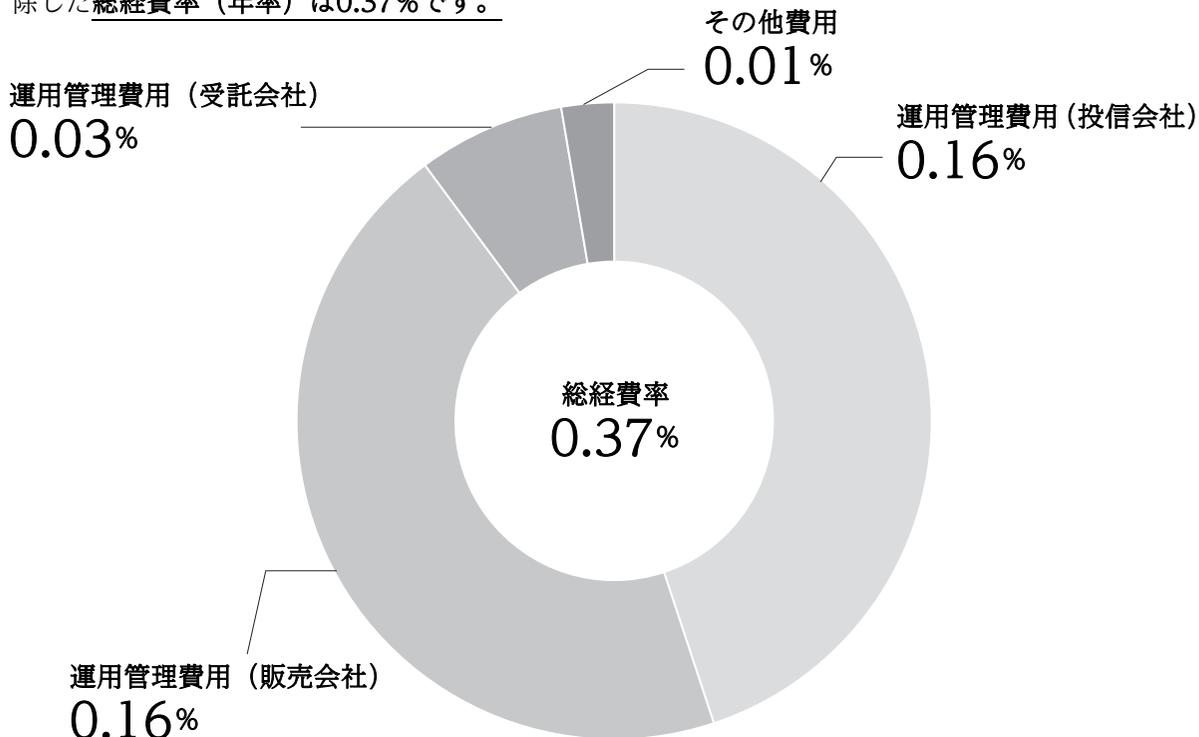
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

(参考情報)

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.37%です。**

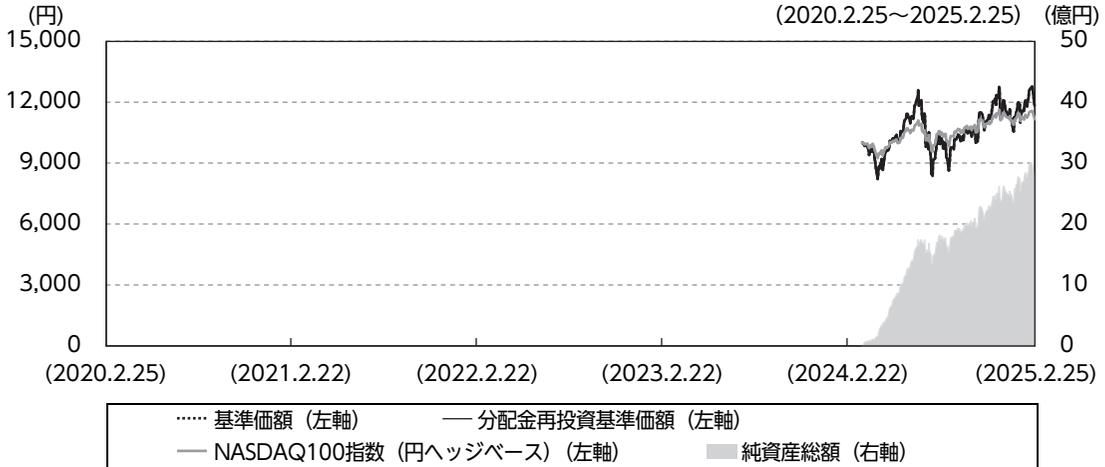


(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

□最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などにより課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、2024年3月22日を10,000として指数化したものです。

*参考指数はNASDAQ100指数(円ヘッジベース)です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2024年3月22日 設定日	2025年2月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,793
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.9
NASDAQ100指数 (円ヘッジベース) 騰落率 (%)	—	11.6
純資産総額 (百万円)	10	2,753

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

(注2) 騰落率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注3) NASDAQ100指数(円ヘッジベース)騰落率は、NASDAQ100指数(円ヘッジベース)をもとに、auアセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

□投資環境について

(2024年8月23日～2025年2月25日)

<株式市況>

(第3期：2024年8月23日～2024年11月22日)

NASDAQ100指数は上昇しました。

期初は米景気後退懸念を背景にNASDAQ指数は大幅に下落しましたが、その後FRBが50bpの利下げを実施したことや中国当局による追加の金融緩和策を受けて反発上昇しました。9月後半から10月半ばにかけては上値の重い展開が続きましたが、その後米景気のソフトランディング観測が強まり上昇しました。11月には米大統領選挙結果を受けて大きく上昇しました。数日間の上昇後はやや反落する動きとなるも期末まで堅調に推移しました。

(第4期：2024年11月23日～2025年2月25日)

NASDAQ100指数は上昇しました。

期初から12月半ばまでは前期からの流れが継続し、米国のソフトランディング期待やAIブームなどが下支え要因となり、NASDAQ100指数は上昇基調で推移しました。その後FOMCの結果がタカ派寄りの内容となったことで、大幅安となりました。1月に入ると金利上昇への嫌気などから軟調な値動きとなりましたが、米CPI後は反発上昇に転じました。その後は月末にかけて上昇基調で推移しましたが、中国のスタートアップ企業、DeepSeekのAIモデルの台頭により米テック企業の優位性に対する懸念が高まり、NASDAQ100指数は大幅下落しました。期末にかけては景気減速懸念が高まった他、トランプ大統領の関税に関する発言などにより、NASDAQ100指数は下落し期末を迎えました。

□ポートフォリオについて

<当ファンド>

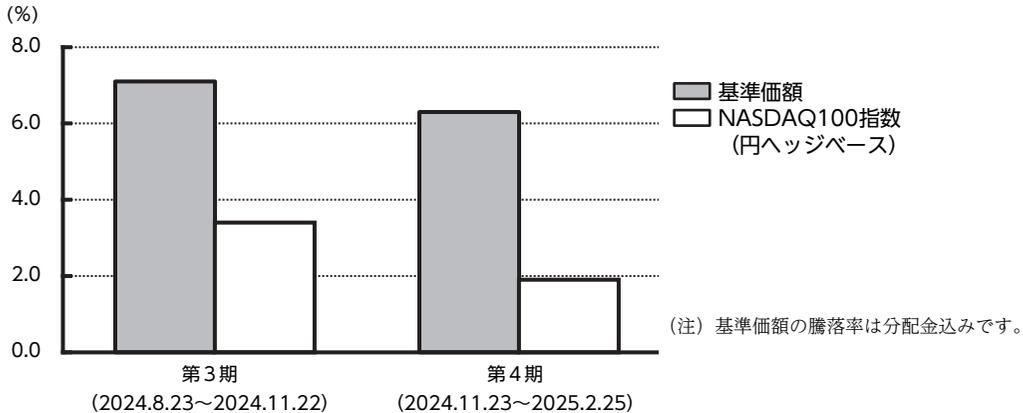
auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（円ヘッジベース）の値動きの2倍を上回ることをめざした運用を行いました。実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

<auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンド>

株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として信託財産の純資産総額の1～3倍程度になるように調整しました。日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（円ヘッジベース）の値動きの2倍を上回ることをめざしました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

□ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



□分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

<分配原資の内訳（1万口当り）>

項目	第3期	第4期
	2024年8月23日～2024年11月22日	2024年11月23日～2025年2月25日
当期分配金（税引前）（円）	0	0
（対基準価額比率）（％）	(0.00)	(0.00)
当期の収益（円）	－	－
当期の収益以外（円）	－	－
翌期繰越分配対象額（円）	1,444	1,866

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■今後の運用方針

<当ファンド>

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンドの受益証券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（円ヘッジベース）の値動きの2倍を上回ることをめざした運用を行います。実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

<auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンド>

株価指数先物取引の買建玉の時価総額が、原則として信託財産の純資産総額の1～3倍程度になるように調整します。日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（円ヘッジベース）の値動きの2倍を上回ることをめざします。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■お知らせ

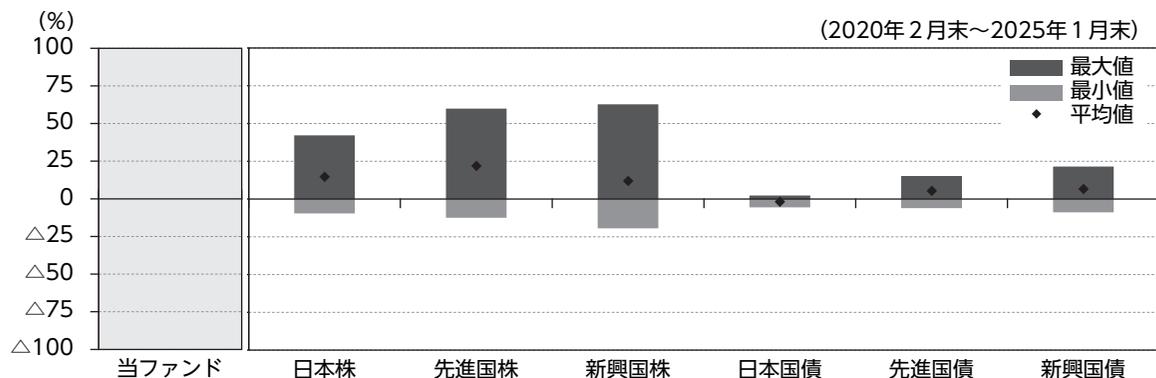
該当事項はございません。

■当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（その他）	
信託期間	2024年3月22日から2034年3月21日まで	
運用方針	auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（円ヘッジベース）の値動きの2倍を上回ることをめざして運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンドの受益証券
	auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンド	米国の株価指数先物取引、ETF、米国の債券および国内の債券
ベビーファンドの運用方法	①マザーファンドへの投資を通じて定量的なモデルに基づき、レバレッジ比率を1～3倍程度の範囲内でコントロールします。 ②実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	
マザーファンドの運用方法	①主として米国の債券および国内の債券に投資するとともに、NASDAQ100に係る株価指数先物取引を買い建てます。 ②定量的なモデルに基づき、レバレッジ比率を1～3倍程度の範囲内でコントロールします。 ③為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額は、経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を含みます。）および売買益（評価益を含みます。ただし、マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額を除きます。）等の全額とします。 ・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 	

当ファンドは、Nasdaq, Inc.またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc.およびその関連会社を「株式会社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Index[®]の一般的な株式市況への追従可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。株式会社とauアセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq[®]およびNASDAQ-100 Index[®]の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行うNASDAQ-100 Index[®]の使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 Index[®]の決定、構築および計算に関し、auアセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、NASDAQ-100 Index[®]とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 Index[®]またはそれに含まれるデータの利用により、auアセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつNASDAQ-100 Index[®]またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。Nasdaq[®], [Nasdaq-100 Currency Hedged JPY TR[™] Index] は、Nasdaq, Inc.（その関連会社を総称して「Nasdaq」といいます）の登録商標であり、auアセットマネジメント株式会社が使用許諾を受けています。Nasdaqは、auアセットマネジメント株式会社が採用するアクティブ投資プロセス、または商品のマーケティングまたは取引に関して、いかなる関係も責任も負いません。本商品およびアクティブ投資プロセスは、その合法性または適合性についてNasdaqによって通知されていません。本製品は、Nasdaqによって発行、承認、販売、または宣伝されるものではありません。Nasdaqは、製品に関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-	14.7	21.9	12.0	△1.8	5.3	6.7
最大値	-	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
最小値	-	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。このため、決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX（配当込み）	株式会社JPX総研
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み/円ベース）	MSCI Inc.
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み/円ベース）	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本/円ベース）	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）	J.P. Morgan Securities LLC

※上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

■ファンドデータ

□当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド等

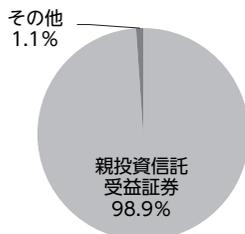
	比率
auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンド	98.9%
その他	1.1%
組入ファンド数	1 ファンド

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

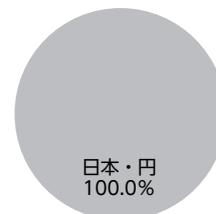
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記データは2025年2月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページ以降の「組入ファンドの概要」に、その内容を掲載しています。

□純資産等

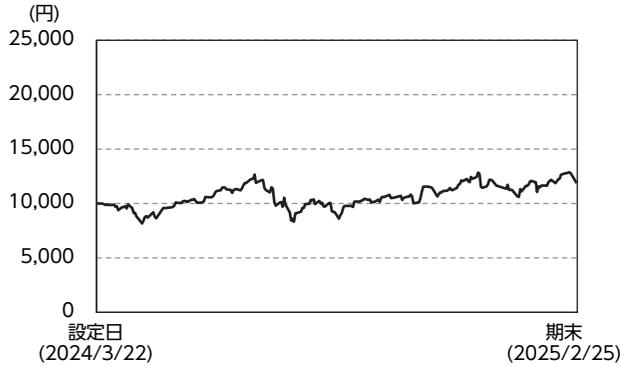
項目	第3期末	第4期末
	2024年11月22日	2025年2月25日
純資産総額	2,216,792,109円	2,753,916,913円
受益権総口数	1,997,676,578口	2,335,156,617口
1万口当たり基準価額	11,097円	11,793円

(注) 当作成期間(第3期~第4期)中における追加設定元本額は1,897,806,476円、同解約元本額は1,321,111,923円です。

□組入ファンドの概要

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100マザーファンド

○基準価額の推移について



○1万口当たりの費用明細

(2024年3月22日～2025年2月25日)

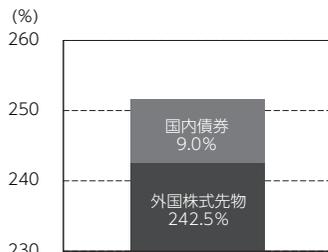
項目	当期
	金額
売買委託手数料 (先物・オプション)	8円 (8)
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	8

(注) 項目等詳細につきましては運用報告書(全体版)に記載しております。

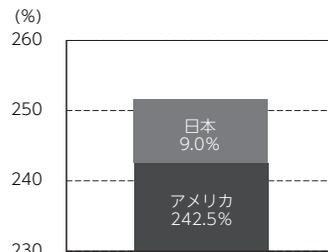
○組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
NASDAQ 100 E-MINI	アメリカ・ドル	242.5%
1261国庫短期証券	日本・円	9.0%
組入銘柄数	2銘柄	

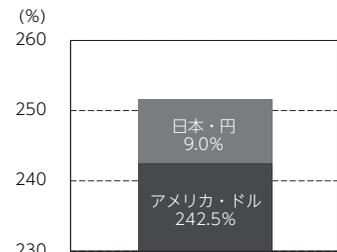
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上記データは2025年2月25日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。